

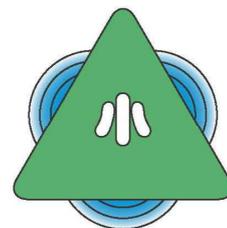
鳥海の子

～明るく・かしこく・たくましく～

令和5年度 学校報 No.34 文責 校長

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和6年 1月18日



グローブが届きました！ ～後学期 後半 スタート～

令和6年は、突然の能登半島地震に始まりました。

正月の家族団らんの時に襲った地震は、甚大な被害をもたらしています。

いつどんなことが起こるのか分からないという自然災害の怖さを突きつけられました。だからこそ、苦手なことに立ち向かい、仲間と分かり合うことで、生きる力を子どもたち育みたいのです。

そんな折、鳥海小学校にもメジャーリーガー大谷翔平さんから、3つのグローブが届きました。レギュラーサイズの右手用、左手用、そしてやや小さめの右手のグローブです。冬休み明け集会で大谷選手からのメッセージを代読しました。



学校関係者各位

貴校ますますご清栄の事とお喜び申し上げます。

ロサンゼルス・エンジェルス・オブ・アナハイムのメジャーリーガー、大谷翔平です。

この手紙は、このたび私が学校に通う子供たちが野球に興味を持ってもらうために立ち上げたプログラムをご紹介するためのものです。

この3つの野球グローブは学校への寄付となります。それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。

この機会に、グローブの寄贈をさせていただけることに感謝いたします。貴校の益々のご発展をお祈り申し上げます。

野球しようぜ。

大谷翔平

「私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます」とあります。

書き初め会の6年生の課題は「将来の夢」でした。子どもたちは、冬休みの思い出を胸に、新しい年の目標に向かって、一步一步がんばってくれると期待しています。



書き初め会の子どもたち

ありがとうございました

昨年12月に実施された歳末たすけあい運動で鳥海地域の皆様から由利本荘市社会福祉協議会鳥海支所 由利本荘市共同募金委員会鳥海地域委員会 に届いた義援金から、本校の特別支援学級に学習支援資材を頂戴いたしました。ポッチャゲーム用ボールセット、フットホッケーやわらかパック、表情カードです。

地域の皆様のご厚志に感謝申し上げます。

明日のスキー教室について

たくさんのご協力をいただき、誠にありがとうございます。学年だよりでグループ編成や持ち物等連絡をしておりますので、ご確認をお願いいたします。

今年は暖冬のため、例年に比べて事前にスキーを体験している児童が少ないと予想されます。この機会に子どもたちがスキーを楽しみ、この地域のよさを実感できれば幸いです。

安心してスキー教室に参加できるよう、体調管理にもご協力をお願いいたします。

児童生徒性暴力等の通報及び相談の窓口のお知らせ

矢島・鳥海地区生徒指導研究協議会研修会の講話でも話題になっていましたが、近年はSNSに起因する事犯の被害に遭う児童数が高い水準で推移しています。SNS上で、被疑者と被害児童が知り合うきっかけとなった最初の投稿の割合は、被害児童からの投稿が多くを占めており、その投稿内容の内訳は「プロフィールのみ」「趣味・嗜好」「友達募集」「日常生活」「オンラインゲーム友達募集」など一見して犯罪に巻き込まれるとは考えにくい投稿が半数以上を占めているようです。

由利本荘市教育委員会から相談窓口の周知依頼がありました。以下の相談窓口があります。

【県教育委員会】

- 「24時間子供SOSダイヤル」
0120-0-78310
- 「すこやか電話」
 - ・0120-377-804…総合教育センター
※月曜日～金曜日の午前8:30～午後5:00
 - ・0120-377-904…中央教育事務所
※土日、祝祭日、年末年始、平日の月曜日～金曜日の午後5:00～午前8:30は留守番電話となり、「子ども・女性・障害者相談センター」(中央児童相談所)の「24時間・365日」相談の電話番号(018-827-5200)を案内します。

【関係機関】

- 「やまびこ電話」
 - ・018-824-1212…警察本部
- 「性犯罪被害相談電話」
 - ・#8103……………警察本部
 - ・0120-028-110…………警察本部
- 「こどもの人権110番」
 - ・0120-007-110…秋田地方法務局



ツキノワグマによる事故防止のために

依然、集落でクマの目撃情報もあるため、1月5日付けで秋田県教育庁保健体育課から、「ツキノワグマによる事故防止」のための注意喚起の依頼がありました。

◎今年には特に、いつでも・どこでも・誰でも熊にあう可能性がある

◎カキ、米、米ぬか、コンポストなど、集落で食べさせない対策が最重要

(基本の対策)

- ・鈴やラジオ、スマホなどで音を立てて人の存在をアピールしながら行動し、クマとの鉢合わせを避ける。
- ・クマを目撃したときは、市町村に連絡するとともに、地域で情報共有する。
- ・カキ、米、米ぬか等、クマが食べられる物を食べられる状態で放置しない。クマにとっての冬眠は食べものの乏しい季節を乗り切る戦略です。山の実りが少ない年は冬眠入りが早くなる傾向があります。一方で、いつまでも食べものがあればクマは冬眠せずに起きていることができます。クマに早く冬眠してもらうためにも、集落内の食べものはきちんと管理しましょう。



子どもたちの通学路の安全確保に引き続きご協力をお願いいたします。